

VIDEO NOISE REDUCTION DEVICE

Patent number:	JP56143779
Publication date:	1981-11-09
Inventor:	OZAKI YASUMI; others: 04
Applicant:	NIPPON HOSO KYOKAI ; others: 01
Classification:	
- international:	H04N9/02
- european:	
Application number:	JP19800047093 19800409
Priority number(s):	

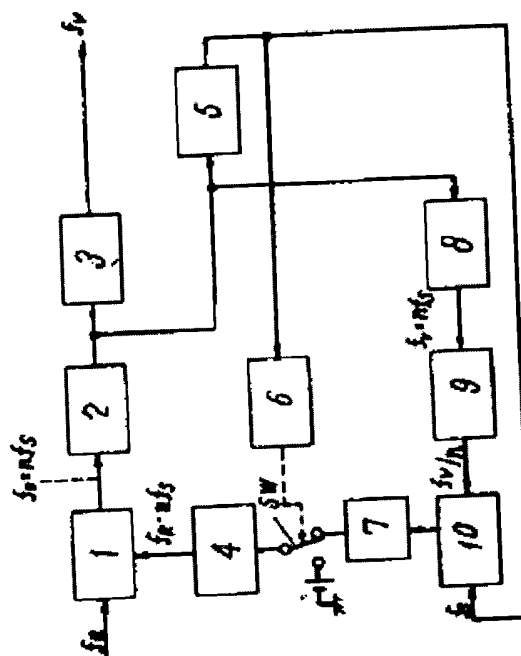
Report a data error here

Abstract of JP56143779

PURPOSE: To improve picture quality easily by reducing video noises arithmetically by utilizing correlation at the circumference of each picture element of a color TV picture with a video signal carrier as it is.

video signal carrier as it is.

CONSTITUTION: Input frequency f_R is applied to frequency converter 1 together with a signal from local oscillator 4 to obtain a signal of intermediate frequency f_V . This is supplied to video noise reducing circuit 3, burst detecting circuit 5 and BPF8. The output of phase detector 10 is applied to oscillator 4 to obtain carrier f_V phase-locked at a frequency (n) times of that of a chrominance subcarrier. Circuit 3 selects adjacent picture elements to put chrominance subcarriers in phase and performs arithmetic between picture elements to reduce noises. Picture-quality improving processing is performed with a direct carrier as it is, so that the noise reducing device is constituted simply.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Patent Abstracts of Japan



実用新案登録願

昭和55年3月28日

特許庁長官 川 原 能 雄 殿

1. 考案の名称

アースパネ

2. 考案者

住所

東京都港区南麻布五丁目10番27号

安立電気株式会社内

氏名

荒 木 幸 雄

3. 実用新案登録出願人

住所

東京都港区南麻布五丁目10番27号

名称

安立電気株式会社

代表者 田 島 一 郎

4. 添付書類の目録

(1) 明 細

書



1 通

(2) 図

面

1 通

(3) 願 書 副 本

本

1 通

55 040287

143779
方式
特許

明 細 書

1. 考案の名称

アースパネ

2. 実用新案登録請求の範囲

シールド用金属板を挟み込むための所定深さのU字形溝部をパネ用金属板に形成し、該U字形溝部の所定深さの箇所から前記パネ用金属板をそれぞれ該溝の外側壁に沿って折り起し、該溝部の深さを越える箇所からそれぞれ外方へ前記パネ用金属板を円弧状に曲げて、該円弧状部分が外部金属部材で押圧されたとき該金属部材と前記シールド用金属板とがパネ用金属板のたわみにより十分な接触が得られるようにしたアースパネ。

3. 考案の詳細な説明

本考案はプリント基板に設けられたシールド用金属板を挟んで筐体又はユニットケースにアースを取るためのアースパネに関するものである。

従来筐体又はユニットケース等に内蔵されて

143771

いるプリント基板に設けられた電子回路群を1部又は複数に分割し、それぞれがシールドを必要な時は、シールド板をそれぞれの電子回路群に設け、筐体又はユニットケース等の蓋にくし形状のアースパネをスポット溶接又はハンダ付け等で固定して、該くし形状のアースパネのパネ部と前記シールド板の上面部分を接触させてアースを取っていた。

また製品の中には所定の電気特性をだすために設計段階において計算されていない場所にもシールド効果を必要とする事もある。このような場合は前記筐体及びユニットケース等の蓋又は金具にくし形状のアースパネ又は線でアースを取るように再追加しなければならず、前記蓋又は金具は塗装又はメッキ等で処理済みであるためにスポット溶接又はハンダ付けを行なうと変色するために再処理をしなければならなかった。

従来のアースの取りかたを図面を用いて説明する。第1図は従来の構造の断面図を示す。

筐体又はユニットケース(1)等に内蔵されている

プリント基板(2)に設けられた電子回路群を1部又は複数に分割し、それぞれがシールドを必要とするときは、シールド板(3)をそれぞれの電子回路群に設け、筐体又はユニットケース(1)等の蓋(5)にくし形状のアースパネ(4)をスポット溶接又はハンダ付け等で固定して、該くし形状のアースパネ(4)のパネ部(4A)と前記シールド板(3)の上面部分(3ハ)の厚さだけとを接触させてアースを取っていた。

このような構成ではアースパネ(4)を簡単に追加又は取り外しすることが容易にできないという欠点があった。

本考案は上記欠点を除去するためになされたもので、その目的とするところはシールド板と筐体又はユニットケース間のアースが容易に取れ、また取り付け、取り外しが簡単にできるアースパネを提供することにある。

次に本考案のアースの取りかたを図面を用いて説明する。

第2図は本考案のアースパネを使用した一実施例の断面図を示し、第3図(A)及び(B)は本考案のアース

スパネの説明図を示す。

筐体又はユニットケース(1)等の内部に設けられた電子回路群を配置したプリント基板(2)の裏面又は両面にアースパタン(2A)が施こされ、そのアースパタン(2A)とシールド用金属板(3)が互いに合う位置にハンダ付けで固定し、その固定されたシールド用金属板(3)の上端部を挟み込むための所定の深さのU字形溝部(4B)をパネ用金属板(4A)の所定深さの箇所(4C)から前記パネ用金属板(4A)をそれぞれ該溝(4B)の外側壁(4D)に沿って折り返し、該溝部(4B)の深さを越える箇所(4E)からそれぞれ外方へ前記パネ用金属板(4A)を円弧状(4F)に曲げて、該円弧状(4F)部分が外部金属部材(5)でP方向に押圧されたとき該金属部材(5)と前記シールド用金属板(3)とがパネ用金属板(4A)のQ方向へのたわみにより十分な接触が得られるようにしたアースパネ(4)である。

本考案は以上のような構造であるからこれを使用するとき、アースパネ(4)のU字形溝部(4B)のパネ圧でシールド用金属板(3)を挟み込み筐体又は

ユニットケース(1)等に外部金属部材(5)をネジ等で締付けると前記アースパネ(4)の円弧状(4F)部分がP方向へ押圧されパネ用金属板(4A)がQ方向へたわみ、前記U字形溝部(4B)にパネ圧がさらに加わり前記シールド用金属板(3)に前記アースパネ(4)の接触面が多くなりアースが完全になる効果も生じる。

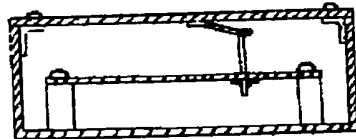
上述のように本考案のアースパネは取り付け及び取り外しが簡単にでき、製品を組み込んだ後でも移動できるので作業能率が良くなり、装置の性能を高めることも大である。

4. 図面の簡単な説明

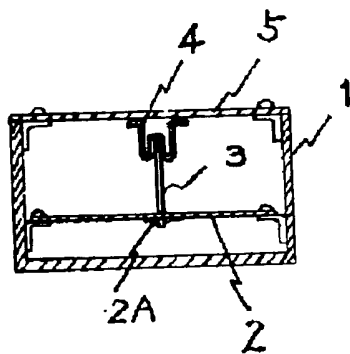
第1図は従来の構造の断面図を示し、第2図は本考案のアースパネを使用した一実施例の断面図を示す。第3図(A)及び(B)は本考案のアースパネの説明用の図を示し、第4図(A)は本考案の正面図であり、(B)は側面図である。

1 : 筐体又はユニットケース、2 : プリント基板、3 : シールド用金属板、4 : アースパネ、5 : 外部金属部材。

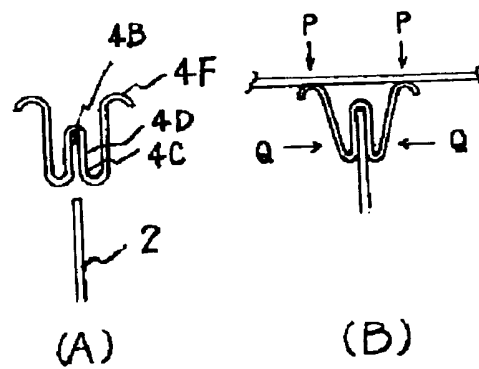
第 1 図



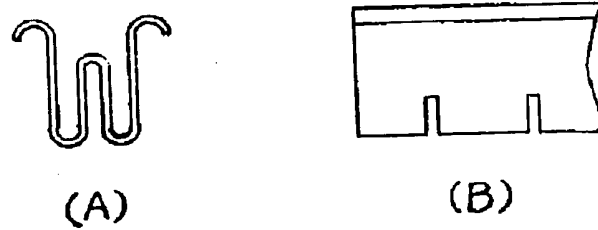
第 2 図



第 3 図



第 4 図



実用新案登録出願人 安立電気株式会社